

北日本新聞 に掲載していただきました！

■リラックスして運転を
南砺市八塚(福野)の多機能型事業所「花椿かがやき」の利用者が30日、手作りしたラベンダーの香り袋を同市寺家新屋敷(同)のショッピングセンター、ア・ミューで買い物客に配り、安全運転を呼び掛けた。写真。

秋の全国交通安全運動に合わせ実施。リラックスした状態で運転することで安全運転につなげようと、香り袋を贈



った。利用者と市交通安全協会、南砺署員ら計14人が参加し、買い物客に「気を付けて運転しましょう」と声を掛けながら手渡した。

■歩行者らに注意呼び掛け
富山中央交通指導員や富山中央署員ら計47人は30日、富山市の富山城址公園前の交差点で、歩行者や自転車利用者に交通安全を呼び掛けた。

富山中央交通指導員連絡協議会(堀田松一会長)が「交通事故ゼロを目指す日」街頭キャンペーンとして春と秋



の年2回行っている。

交通指導員らは、交通安全を啓発するチラシや反射材などが入った袋を100セット用意し、歩行者や自転車利用者に配った。写真。黄色の旗を立てて乗用車の運転者にもアピールした。

■追突事故気を付けて

富山西交通安全協会五福支部(飯田宗信支部長)は30日、富山市五福の県道富山高岡線でドライバー

■チューリップの球根配る

砺波安全運転管理者部会などは30日、砺波



に追突事故防止を呼び掛けた。写真。

五福支部管内で追突事故が多発していることから、ドライバーの意識啓発を目的に実施。同支部のメンバーや富山西署員ら約20人が通勤時間帯の県道沿いに立ち、「事故多し！車間距離保て！」と記した横断幕を掲げたほか、拡声器を使い安全運転を訴えた。



市頼成のつもりハウス前の国道359号で、ドライバーにチューリップの球根を配り、交通安全を呼び掛けた。

「交通事故死根絶キャンペーン」として実施。同部会や市交通安全母の会、市交通安全協会などから24人が参加した。砺波産の球根や母の会手作りの反射材ストラップなどが入った計100セットをドライバー一人一人に手渡し、「事故に気を付けてください」「安全運転をお願いします」と呼び掛けた。写真。

富山新聞 に掲載していただきました！

交通安全 願い込め



球根配り事故死
根絶を呼び掛け

砺波でキャンペーン

砺波交通安全運転管理者部会と市交通安全母の会は30日、砺波市頼成の国道359号で交通安全キャンペーンⅡ写真Ⅱを行い、砺波産チューリップの球根を配り、「事故死根絶」を呼び掛けた。

安全運転管理者部会の飯田修平部会長や砺波署員ら24人が参加した。飯田部会長が球根と反射材の折り鶴などが入った袋を運転手に手渡した。

買い物客に匂い袋

南砺市安協

南砺市交通安全協会や南砺署は30日、市内3カ所で交通安全マスコット配布キャンペーンを行った。寺家新屋敷のショッピングセンター「ア・ミュー」では、参加

者14人が手作りの匂い袋のマスコットやチラシを買い物客に手渡したⅡ写真Ⅱ。匂い袋のマスコットは、同市八塚の多機能型事業所「花椿かがやき」の通所者が作った。利賀、井波の両地域でも行われた。

